

## 会 議 要 旨

|        |                                                                                                              |                                                         |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 会議名    | 第5回町田市第二次野津田公園整備基本計画懇談会                                                                                      |                                                         |
| 開催日時   | 2013年8月22日（木）午前9時30分～12時00分                                                                                  |                                                         |
| 開催場所   | 町田市役所 10-4 会議室                                                                                               |                                                         |
| 出席者    | 委員                                                                                                           | 金子忠一、中川義英、三ツ谷洋子、大野友美、奥村憲雄、太田真由美（6名、敬称略）                 |
|        | 庁内連絡会                                                                                                        | 都市づくり部長、スポーツ担当部長、スポーツ振興課長（3名）                           |
|        | 事務局                                                                                                          | 公園緑地課長、公園管理担当課長、公園緑地課7名、スポーツ振興課1名<br>株式会社東京ランドスケープ研究所4名 |
| 公開・非公開 | 公開                                                                                                           |                                                         |
| 傍聴人数   | 18名                                                                                                          |                                                         |
| 議題     | 議題1 公園整備の方向性について                                                                                             |                                                         |
| 次第     | 1. 公園整備の方向性について（項目別の整備目標・方針）～Fマネジメント～<br>2. ゾーニングについて<br>3. その他（次回懇談会の日程等）                                   |                                                         |
| 資料     | 資料1.第3回懇談会議事要旨<br>資料2.野津田公園整備基本計画懇談会資料（差換え分：D、F）<br>資料3.懇第4回懇談会議事要旨<br>資料4.ゾーニング図（案）<br>資料5.懇談会のスケジュール及び検討事項 |                                                         |

### 1. 開会挨拶

（事務局）

#### ・開会挨拶

（会 長）

- ・傍聴者の入室許可を全員に了解をとり、了承された。

### 2. 配布資料のご案内について

【事務局より前回議事の修正の説明】

（事務局）

（奥村委員）

2回の議事録について、私の発言の趣旨と違う議事録となった。これからはそういうことが無

いようにしていただきたい。

(会長)

第3回、第4回の議事要旨はこれで公開する方向で進めたい。

それでは、本日の議題に入りたい、事務局より、改めてご説明いただきたい。

(委員)

その前に、資料は、修正したDはあるが、Eが何故無いのか確認をしたい。

(事務局)

未修正のため、配布しない。

(委員)

防災について、保留になっていた件についてどうなっているか。

(事務局)

【第4回で保留事項の説明。】

(会長)

保留事項は、メモで頂きたい。

(委員)

地盤調査については、発災してみないとどうなるか分からないというのはいいと思っている。それは、私は一貫して無駄なお金を使って欲しくないというのがあるので、ボーリング調査を全部やることについては、希望していない。

野津田、小野路地域の昼間人口と夜間人口（国勢調査）の人口が分かる資料が欲しい。その解釈は、委員会に任せて欲しい。駐車台数に関しては、今までの数字を一覧表にして、何月何日には何の試合があつて、駐車場は何台使つたというのを見せて欲しい。

(会長)

駐車場の台数については、議論をするには必要と考える。

(委員)

試合のとき周囲駅からのアクセスを把握していないというが、町田市が委託して調査した結果が、非常に詳細に52ページ以上ある。再度、精査して欲しい。

南入口付近で安全性の高い避難路というのがよく分からない。今日自衛隊トラック等の進入というのは初めて耳にしたが、中央駐車場が競技場に非常に近い、北側から一本で来れるし、なんら問題が無い、むしろ競技場で何かあつたときに、わざわざ上の原に来る必要は全くない。防災のことは、何が重要で、何が重要でないかEの防災は、まだ議論が必要だと思う。データを出してもらい、改めて議論したい。

(会長)

データについては、整理して示すということで。

資料のFマネジメントについて、ご意見をいただきたい。

～事務局より資料の説明～

(会長)

ここは多分一番大事な部分で、現状についても、整地された後の利用についても大事なところなので色々なご意見を頂きたい。

(委員)

里山エリアについては、無駄なお金はかけないで、今までのままで十分である。遊具で遊ばせた場合は、スポーツゾーンの方でやればいい。本来何にもないところで遊ぶことに非常に意義があると思う。ボランティア団体の方と一緒に頑張っていけば、とても素敵な次世代に残る公園になると思う。

(会長)

ボランティアたちが活動していくときに、仕組みも含めて現状のままで十分なのか、こういった点があるとボランティアの方たちが活発にできるとか、その辺の提案があると良い。

(委員)

ボランティア団体をもっと募ればいい。お金をかけずにやる。ボランティア同士でトラブルが発生したら、町田市の方が仲裁に入るとするのが役目だと思う。

(委員)

市とボランティアはギクシャクしていると思う。しかし、ボランティア同士でトラブルというのは聞いたことが無いので、ボランティアの力を是非使ったほうがいい。

(会長)

ボランティアを有効に使うべきということによいか。

(委員)

特定団体がよくないなら広く募集をして、ボランティア間で競争すればいいが、協力し合うのが一番いい。スポーツの取組みに関する環境づくりなどは、スポーツの専門家に任せればいい。スターバックスのような人を集めるレストランなどをつくるという話があったが、それは、小野路屋敷の古民家を再生して町田の農家がつくったオーガニック食材を使ったオーガニックカフェをやればいいと思う。

(会長)

古民家の再生と生産物の使い方とか、

(委員)

フードマイレージをかけずに地産地消という方に向けて欲しい。

(会長)

他にアイディアは。

(委員)

アイディアというか、Fのマネジメントの資料に、町田の『里山』に息づく環境文化と今日まで継承されてきた緑の『量と質』を守り育てると書いてあるが、量がどんどん減っている。以前、上の原に関して、公園は緑地を削減するのか、しないのかという問い合わせをした。これに対して、基本的に公園緑地は削減しないという回答があった。実際は、野津田公園の上の原では回廊と言いながら 5000 m<sup>2</sup> の上の原の緑地を削減すると、それが暫定駐車場計画である。。懇談会の議論でも、野津田の公園の上の原の駐車場というのは全く必要の無いことだと思うし、多摩丘陵の里山回廊の保全・再生・活用という言葉に反していることだと思う。

(会長)

駐車場の議論をする場ではない。

(委員)

暫定駐車場は、緑の問題に関係していると思う。行政は、雑木林会という NPO に対する評価をすべきと思う。上の原の 5000 m<sup>2</sup>のそこだけって言われるかもしれないが、そこが崩れたらこの回廊、多摩丘陵里山回廊というものもどんどん崩れていく。小野路の里山交流会館ができる(が)、モノレールが出来るときに 22 mか25 mの基幹道路があの上の方を通る。今日は、上の原が里山であるということについて、この懇談会で合意したい。

(会長)

そのことについては、今、議論することではない。今日、この上の原の 5000 m<sup>2</sup>を云々するという時ではない。それは別のところで議論する内容である。

(委員)

資料4、1 ページ目に里山という写真がいくつかある。公園施設として芝生広場、展望広場、湿性植物園、バラ広場というのが載っていて、里山だと思うが、すすき、草地、木もれ陽の路、ピクニック広場、炭焼き広場、上の原広場、ミズキ広場と書いてある。この間皆さんにお渡しした資料、野津田公園つくる前がどうだったか。もう、全体が里山だった。論議する時に、ここは里山ではないとか、ここは駐車場にしていいたいということがまかりとおったまま、はい、私達は緑の量と質を守り通しますとか…

(会長)

ここは、どういう公園にするかを議論する場であり、あそこの里山に原っぱがあるということをも前提に、どういう公園にするかについて御意見を伺っており、それは皆さんご了解していただいていると思う。で、過去にそこが駐車場となるということで、市民と市の方が色々意見の相違があったということも、承知している。ただ、今、委員も言うように、ここは白黒はっきりするまで議論できないというのであれば、この懇談会は成り立たないし、この懇談会はここで止めざるを得ないかと思う。

(委員)

市長が判断するのはこの懇談会の結論が出てから判断されればいいと思う。

(会長)

ここは、それを決める場でもない。ここで上の原を 100%駐車場にしないということを決めることがこの懇談会の目的でも無い。

(委員)

私も駐車場を 100%決める、決めないということをはっきりして欲しいということを一言も言っていない。

最初に出された整備案で上の原地域に駐車スペースのことが書いてあった。上の原に駐車スペースが欲しいという事で懇談会をつくられたというふうに考えられる。

(会長)

それは考えすぎということがいいたい。

(委員)

緑を守りましょうということを言いながら(砂利)10cm。転圧をかける。これは両立しない。

(会長)

あのエリアをどういう場所にすべきだということは、ゾーニング（の論議）のとき、議論すべきことだ。

（委員）

今回、マネジメントということで、基本目標の（案）で「官民協働の管理運営の方法について継続的に検討する」ということで、「連携する」というのはよくいわれるが、「どう連携するのか」、個別に対応していくのか、そうではなく様々な市民、ボランティア、NPO法人と、連携するシステムを検討するということが必要である。システムがないと連携というところで、バラバラの状態で動くことがあるので、方針として、是非このことは加味した方が次の議論のベースになると考える。

（委員）

今の連携のシステムをつくるというのはとってもいい。

（委員）

連携をとると、PDCAのサイクルが循環型になる。循環型にするためには、個別の形ではなかなかいかないので、そのようなシステム欲しい。

（委員）

法政大学では、多摩キャンパスに法政クラブというNPOをつくり、テニス教室、子どもたちのためのバスケットボール教室や、陸上競技教室をやっている。また、この地域は、大変高齢化が進んでいるので、今後高齢者対象の教室もやったらどうかという提案も出ている。

現在、学生が館ヶ丘団地（八王子市）に行って、お年寄りと一緒に昼ご飯を食べる活動をしている。ことのほか喜んでもらえているという話を聞いたことがある。学生や大学でやって欲しいことをご提案いただきたい。

（委員）

里山も守るためには、里山を知ってもらうことが重要。その中で里山にある野津田公園を保全のための拠点として、ボランティアと市が共存できるようなシステムを公園の中につくるとか、定期的にイベントを行うとか、里山を知ってもらうための公園、もちろん自然のままの野津田公園もいいと思うが、多少公園ということで、つくられたものがある、里山を知ってもらえるような何か、そういったものがつくれたらいいと思う。知ってもらわないことには興味もわかないし、そこに税金が使われたときに何でそんなものをつくるのかという疑問もわいてくるかと思うので、里山は大事ということを感じられるような場所なったらいい。

（委員）

本当にここ回廊ということで緑がつながって、小野神社に交流館ができる。そこは駐車スペース無い。交流館利用者は野津田に停めていいということも含めて、小野路公園も含めて周遊するのも一つの手だと思うし、鎌倉古道の会がどの駅からどこへというのをやっている。お城の跡もあるし、小町の井戸もあるし、是非みていただきたい。今いい思うのが、障がい者の方のスポーツ教室というのを数ヶ月に一回やってる。あとウォーキングの介護、ウォーキングのタイムトライアル、そういうのも励みになっていいと思う。

（委員）

川崎フロンターレは、地域密着の取組としてJリーグの中でもお手本となる活動をしている。

小学校の体育の授業にセカンドティーチャーを派遣したり、数学のテキストを作り子ども達が楽しく学べるような工夫もされている。Jリーグの多くのクラブが、厚生労働省の介護予防事業をしている。

町田ゼルビアは、J2 から転落したが皆さんのお金でスタジアムを改修した。クラブは地域の貢献活動を大きな柱の一つにしているので、是非、ゼルビアに対してもやってもらいたいことを、提案していただきたい。

(事務局)

ゼルビアは、地域貢献活動ということで、公園関係ではないが、子ども達への朗読など、さまざまな形で関わっている。ゼルビアはホームタウンチームとして、事務局として盛り上げていくとともに、ゼルビアとも協力体制を強くしていきたい。川崎フロンターレのようなものも活用していきたい。

(委員)

Jリーグクラブは、基本的に株式会社だが一般の株式会社とは違う。地域に根ざすという意味からすると、地域に貢献しながらトップのチームを強くするということで、どちらかというとNPO法人のような形態であるのご理解いただきたい。

(委員)

駐車場は平日無料になった。これは毎月の経費が駐車場の収入を上回る状況が続き、経費の縮減を図るためとある。それとこのマネジメントはどういう関係なのか知りたい。

事務局に質問。上の原について、なぜ駐車スペースが必要だとの文言をいれて、なぜそのあと取ったのか。

(会長) 今回はマネジメントですので、それは、次の会でよろしいでしょうか？

(委員) はい。今のマネジメントに関して、駐車場は平日無料になった。これは毎月の経費が収入を上回る状況が続き、経費縮減を図るためとある。野津田公園だけで、収支の差額が6ヶ月間で882万円です。どこの駐車場に行くかによって公園利用できる、出来ない。何時かによって利用できる、出来ない。そういうことが起こった。それとこのマネジメントはどういう関係なのか知りたい。

(委員)

駐車場をどうするのか、料金を取るのか、取らないのか、入口はどうするのか等については、方針を決めた後の話ではないか。公園について愛情を感じるが、それをこの場で話し出すと、会長が言われるように話が進まないの、とりあえずは、方向について意見を出して、その次の具体的な実行プランで、細かいところを出したらいいと思う。

(会長)

委員の思ってることは、利用者の方が不満を感じているということはとても大事な事だが、それは市や、指定管理者に直訴することである。

ここでは、どうしたらサービスがあがるかという議論の場である。今、三ツ谷委員が言ったようにここでの議論は違う。

(委員)

だって(指定管理者に)ここ(懇談会)に出てくださいといっても違うと(市は答弁した)。

(会長)

ここでそれを議論すべき場では無いということです。それは、現場にいつて納得するまで聞いてください。今は、どうしたらサービスがあがるかということ。

(委員)

前々からそういうことはそぐわないというようなことを言われているが、今後の懇談会でどのように担保されるのか。

(会長)

駐車場の問題は、現時点の問題点として、利用者としてどうやったら解決・改善できるかを、指定管理者、市の窓口と相談して、より良い方向に進めればいい。ここでは将来整備水準が高まるにはどうしたらいいかを議論していることであって、現実がダメだからそれを改善しないと話が進まないということであれば、これは違う。例えば、これがここに提案されている協議会みたいな場だったらいい。この懇談会は、この野津田公園の現状を「いかに良くするか」という場で、今は、市、市民は、どうしたらいいか分からない。だけど今みたいな事をどういう場で解決したらいいか分からないから市民の意見をきちんと反映させる場をつくる必要があるということに對して、連携システムをきちんとした場をつくるという議論をしていただきたい。そのきっかけとして、この場をということは分かる。

(委員)

例の駐車場は、運営協議会にも、何も言わずにつくり始めた。だから運営協議会に対して市の姿勢っていうのは、「連携」というものを事実上絶っていると思う。

(会長)

それは、現状の運営協議会の仕組みがよくないと思う。

そういった現状を踏まえて。今後はどうすべきだということを言って頂きたい。どういう協議会にすべきかを議論していただきたい。

(委員)

この運営協議会では、いろいろな問題を解決しながら、こういう公園をつくるというようにして欲しい。

(委員)

それは運営協議会をきちんと地域とのコミュニケーションが出来るものとして活性化すべきだという事をこの方針の中に一項目入れるべきだということか。

(会長)

ゼルビアや大学にこんなことをして欲しいということは、もっと時間をかけてやっていければと思う。ほかに全体の方針について何かあるか。

**【運営協議会について、事務局より補足説明】**

(会長)

「連携」の仕組み（市民意見やボランティア等様々な意見をどう吸い上げていくか）や「連携」のシステムをどうつくっていくか、ゼルビアとの連携や大学との連携について方針に入れたほうがよいということ。

古民家の再生や地域の農産物（地産地消）など地域の資源を活かし、公園を含めた地域の魅力アップを図る。

野津田の自然や里山を生かしたプログラムや障がい者も含めたプログラムの提供を行う。  
以上がFマネジメントのまとめになると思うが、それに加えてゼルビアや大学に対して、こんなことをして欲しい、したらいいのではないかな等の要望等があれば後日にでも出してもらいたい。

### 3. ゾーニング案について

#### 【事務局よりゾーニングについて説明】

(委員)

パークゾーンで遊具等の施設をつくるのは、駐車場やテニスコートのあたりまでがよいと思う。

既存の遊具を取り外した理由となぜ同じものを直ぐに設置しなかったのかについて説明して欲しい。

レクリエーションスポーツゾーンの形が里山ゾーンに入っているのはなぜか？

ふれあいゾーンの「ふれあい」の意味がよく分からない。「里山ゾーン」の方がいいのではないかな？

(事務局)

遊具を外した理由は、毎年行っている遊具の安全点検調査の結果から利用に支障があるため撤去した。同じものを直ぐ設置しない理由は、この規模の遊具は予算的にも大変大きくなるので、この懇談会にかけてよりよい方向性を出したいと考えている。

遊具の配置等に関しては、御意見として承らせていただく。

ふれあいゾーンのふれあいとは、野津田の自然、「みどり」とのふれあいという意味。

レクリエーションスポーツは、自然の中でも楽しめる散策、トレイルラン、意思をもって身体を動かすスポーツをレクリエーションスポーツとして考えている。

(事務局)

ここでのレクリエーションスポーツは、自然環境や自然地形を活かし楽しめるフィールドアーチェリーとかトレイルランなどを想定している。

(委員)

散策は、里山を散策すればいいので、レクリエーションスポーツゾーンよりも、里山ゾーンとなるのではないかな？また、トレイルランは、ここの地形はそれほどでもないし相応しくないのではないかな？

(委員)

野津田公園は「都市公園」ということなので、そんなにハードなものではなくても、ちょっと体験するとかちょっとふれる程度のものがあつた方がよいと思う。

(委員)

「ふれあい」というのはよく分からないし、わざわざ「ふれあう」必要は無いのではないかな？

(会長)

「ふれあい」ということが分かりにくい表現となっているので、具体的にふれあいゾーンで想定される利用を説明して欲しい。

(事務局)

「ふれあい」については、「みどり」とのふれあいを考えています。

(委員)

「ふれあい」というのであれば、「みどり」とのふれあいに、「人とのふれあい」も入れた方がよい。

(事務局)

ふれあいゾーンは、自然の風景や自然地形を活かして活用していただくゾーンとして考えている。

(委員)

私は他の団体のことはよく分からないけれども、変えるという事は今までの団体の活動で足りないから、変えようとしているのだろうから、今まで活動している過去の団体の一覧を出してほしい。今まで十分活動をしているのに足りないということであれば教えて欲しい。

(委員)

ゼルビアの地域貢献活動の一環として、例えば上の原グラウンドで子どもたちにサッカーを教えたり、その他の活動の場としてレクリエーションスポーツゾーンは有効だと思う。

地域の活動をしている方々の会合とか懇談会等の交流の場がここにあるとよい。スタジアムの芝生のピッチを頻繁に活用するのは難しいが、スタンドの下の会議室などが使えるようになっていけば、より多くの市民がスタジアムを活用できるのではないかな。

(委員)

鎌倉街道とか薬師池とかもう少し広い範囲でここの繋がりが見えるようなもの、周辺とここがどうつながっているかが分かるような資料が欲しい。

(委員)

懇談会の日程について、第1回の懇談会で配布された資料と、今回の資料の内容が全く違う。しかも、どの時点で自然調査等の結果報告や基本計画はいつ出されるか、など具体性がきわめて乏しい。いきなり市民のパブリックコメントのための前提について論議をするという方針なのか。きちんと説明して欲しい。

(会長)

意見に対する対応については、今後メモにして欲しい。それでは、次回以降のスケジュールについて事務局より説明して欲しい。

(事務局)

次回の懇談会は10月3日14:00～16:00を予定しています。次回では10月以降の市民意見募集のためのゾーニングとマネジメントを踏まえた図面を出す予定。

(金子会長)

次回では、具体的な計画案を示して議論をする。

(委員)

資料について、分かり易くなっていれば、この場での資料説明の時間は要らないので、分かり易い資料を事前に送って欲しい。この場で出されても直ぐに考えを出すことは難しい。また、自然環境調査の結果についても次回出してもらいたいと思う。

(会長)

資料の作り方として、議論のポイントについても分かり易い資料として欲しい。

(事務局)

閉会挨拶。